「本邦における再発子宮体がんの実態と孤立性再発に対する局所療法の有効性の検討」に対するご協力のお願い

研究責任者　　所属　産婦人科　職名　教授
氏名　　山上　亘
連絡先電話番号　03-5363-3819

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「８　お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

１　対象となる方

2015 年から 2017 年に子宮体がんの初回治療を受け、本研究への参加について拒否しない方。

研究責任者が研究対象者として不適当と判断した方を除く。

２　研究課題名

承認番号　　20241114

研究課題名　本邦における再発子宮体がんの実態と孤立性再発に対する局所療法の有効性の検討

３　研究組織

研究代表機関	研究代表者・研究事務局
がん研有明病院	婦人科副部長　温泉川　真由

共同研究機関

JGOG 参加機関 https://jgog.gr.jp/institution/institution_map.html

韓国の協力施設

４　本研究の目的、方法

本研究は子宮体がんと診断されたのちに再発された患者さんを対象として、再発の実態と再発後の治療、特に孤立性再発に対する局所療法の有効性を検討することを目的としています。

診療情報の項目について、診療録から情報を入手し利用します。

研究代表機関はがん研有明病院であり、当院はデータを収集する機関です。

データの提供はパスワード付きの Excel シートを使用し、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。患者さん個人とデータを連結するための対応表は、研究責任者および事務局が保管・管理し、外部への提供は行いません。

５　協力をお願いする内容

2015 年から 2017 年に初回治療を受けた子宮体がん患者の内、再発した患者さんの以下のような診療情報を診療録から集積し、検討します。

・2015 年から 2017 年に初回治療を受けた子宮体がんの患者さんの情報基本情報（日本産科婦人科学会腫瘍登録情報）

・2015 年から 2017 年に初回治療を受けた子宮体がん患者の内、初めて再発した患者さんの情報

・2015 年から 2017 年に初回治療を受けた子宮体がん患者で初めて再発した患者さんの内、放射線治療または手術療法（局所療法）を行った患者さんの情報

６　本研究の実施期間

研究実施許可日～2025 年 3 月 31 日

７　外部への試料・情報の提供

研究代表機関へのデータ提供はパスワード付きの Excel シートを使用し、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。患者さん個人とデータを連結するための対応表は、研究責任者および事務局が保管・管理し、外部への提供は行いません。試料の提供の予定はありません。

８　お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

研究責任者

慶應義塾大学医学部産婦人科教室　教授　山上　亘

連絡先：03-5363-3819（FAX 03-3353-0249）

以上